

平成28年度さぬき市行政評価報告書

平成28年11月15日

さぬき市行政評価委員会

平成28年度の行政評価を振り返って

事務事業外部評価5年目となる本年度は、委員7名の意見を基に、総務部所管4事業、市民部所管1事業、健康福祉部所管2事業、建設経済部所管3事業及び教育委員会事務局所管2事業のあわせて12事業を選択し、評価を行いました。

本年度が第2次総合計画に基づく初めての行政評価になることを踏まえ、これまでの委員の意見等を引き継ぎ、全調書を市ホームページで公表することを前提に、「総合計画実施計画及び事務事業評価調書」の様式変更と職員研修会の開催に取り組むとともに、外部評価の効果検証を行うため、過去に外部評価を行った事業も対象事業に含めました。外部評価時間は、職員との意見交換を十分に確保するため、1事業当たり40分間(事業説明5分、質疑応答30分、評価シート記入5分)を継続しました。

評価を終えた全体的感想としては、各部署ともに、第2次総合計画の推進を意識した活動指標と成果指標を設定しており、質疑応答だけではなく、調書からも、市民に分かりやすい行政運営に努める姿勢を感じることができました。しかしながら、職員の、職務に対する積極性については、昨年度と同様に、新規事業の必要性を感じながらも先延ばしする姿勢が見受けられました。この状況を打開するためにも、部署間の協力意識を高めながら、事業のスクラップアンドビルドに基づく人員と予算の配分転換に早急に取り組むことを希望します。

それでは、以下、各事業の評価を通して各委員から寄せられた主な意見を列挙します。

1点目は、防災・減災対策の充実です。近年、全国各地で想定を上回る自然災害が相次いで発生する中、防災・減災対策は行政として取り組むべき重大かつ喫緊の課題となっており、本市においても、職員配備計画の見直し、地域防災訓練の支援、ハザードマップの改訂・配布等に取り組まれています。残念ながら、その効果が、市民等に十分に浸透しているとは言いきれません。継続は力なり、とも申しますので、庁内はもとより、自治会や自主防災組織等との連携を更に密にしながら、効果的な訓練と、きめ細やかな啓発活動を、定期的を実施していただきたいと思えます。

2点目は、観光資源の活用と観光振興策の強化です。旧町の枠を超えた観光事業の活性化は、合併以降、継続して市民の期待が大きい施策の1つと思われませんが、平成24年度の前回評価時から大きな変化を感じることはできませんでした。特に、景勝地として名高い大串自然公園については、観光客誘致も、市民が集う憩いの場としても十分に機能しているとは言いがたいので、観光振興の中心的担い手となるさぬき市観光協会と協力しながら、野外音楽広場等と併せて一層の有効活用をお願いします。また、リピーターを増やすためには、ICTを活用した情報発信が大変重要だと思えますので、先進自治体等を参考に、更なる努力を期待します。

先日公表された平成27年国勢調査の結果では、さぬき市の人口は50,272人で、5年前に比べて約5%減少しており、今後も一定の人口減少は避けられないものと思えます。このような状況下で行政サービスの水準を維持するためには、継続した行政改革、特に、事務事業の選択と集中は避けては通れない課題です。本委員会による行政評価が、課題解決の一助となれば幸いです。

さぬき市行政評価委員会
委員長 長山 貴之

事務事業評価結果項目一覧表

No.	事業名	拡充	現状維持	要改善	抜本的見直し	統合廃止
1	乳幼児医療費支給事業		○			
2	生きがい活動支援通所事業			○		
3	幼稚園預かり保育事業		○			
4	津田古墳群保存整備事業	○				
5	JR駅関連施設管理事業			○		
6	観光協会事務局事業(観光振興対策関係)			○		
7	大串自然公園管理事業			○		
8	自治振興事業②(コミュニティ活性化関係)		○			
9	防災支援事業③(防災訓練関係)			○		
10	秘書事業(まちづくり寄附(ふるさと納税)関係)			○		
11	企業誘致推進事業		○			
12	地域おこし協力隊・集落支援員事業			○		
合計		1	4	7	0	0

個別事業に対する評価

事業名	乳幼児医療費支給事業
担当部署名	健康福祉部 子育て支援課
総合評価	現状維持
評価理由及び改善箇所	<p>本事業は、小学校就学前までの乳幼児の医療費に係る自己負担分の支給等を通じて、疾病の予防・早期発見・早期治療を推進する事業である。次代を担う子どもの確かな成長を促すための重要な事業と考えられる。</p> <p>なお、本事業と関連が深い、小・中学生を対象とする「子ども医療費支給事業」については、立替払の見直しなど、できる限り保護者のニーズに応えられるよう取り組んでいただきたい。</p>

事業名	生きがい活動支援通所事業
担当部署名	健康福祉部 長寿障害福祉課
総合評価	要改善
評価理由及び改善箇所	<p>本事業は、介護保険の利用対象とならない高齢者の生きがいづくりや健康づくりを目的とする大変有意義な事業であるが、時代の流れとともに、介護保険事業等の高齢者福祉に係る各種取組との違いが見えづらくなっていると感じる。本事業の目的達成に最適な事業連携や統合も視野に、関連所管課との協議を深めていただきたい。</p> <p>合わせて、喫緊の課題として、高齢者が能動的に取り組めるメニューづくりのほか、受託事業所の拡大が必要と感じるので検討いただきたい。</p>

事業名	幼稚園預かり保育事業
担当部署名	教育委員会事務局 学校教育課、健康福祉部 子育て支援課幼保連携推進室
総合評価	現状維持
評価理由及び改善箇所	<p>本事業は、幼稚園の教育時間終了後に園児を継続して保育する事業であり、保護者の就業状況等により、ニーズがさらに高まる可能性がある。平成28年度より、本事業を幼保連携推進室に移管したことを踏まえ、本市に適した子育て支援策としてさらなる充実を期待する。</p> <p>なお、子どもの預かり時間の延長等の保護者ニーズに対応するための職員配置については、生活補助員との重複任用のほか、預かり保育指導員を補佐する立場として、教諭資格等を有しない者の任用を検討してはどうか。「地域で子育て」の時流も活かしてほしい。</p>

事業名	津田古墳群保存整備事業
担当部署名	教育委員会事務局 生涯学習課
総合評価	拡充
評価理由及び改善箇所	<p>国史跡に指定されている津田古墳群と、歴史的つながりの深い富田茶臼山古墳を一体的に保存整備することは、貴重な歴史財産を次代につなげる意義のある取組であり、本市特有の教育・観光資源として活用を図る上からも、本事業で作成する津田古墳群保存管理計画書の策定と遂行に期待する。</p> <p>ただし、計画書の有無にかかわらず、市民を中心に本歴史財産の価値をアピールし、認知度を高める必要があるのではないか。市広報紙やホームページ等で調査実績を公表するに留まらず、児童・生徒の学習教材とするなど、多様な広報活動を期待する。</p>

事業名	JR駅関連施設管理事業
担当部署名	建設経済部 都市計画課
総合評価	要改善
評価理由及び改善箇所	<p>本事業は、JR志度駅及び造田駅の駅舎等を安全かつ快適に利用できるよう維持管理を行う事業である。しかしながら、JR の駅は、通学・通勤・買い物等で利用する市民以外にも、観光等で利用する市外在住者も多いことを踏まえると、利用可能スペースを最大限活用して、市のアピールも行うべきではないか。</p> <p>特に、毎日 2,000 人以上が利用する JR 志度駅の自由通路(ふれあい通路)の改善には直ちに取り組むべきだと考える。有料広告の募集活動も重要ではあるが、まずは、既存の観光ポスター等を有効に活用し、市の情報発信に努めていただきたい。</p>

事業名	観光協会事務局事業(観光振興対策関係)
担当部署名	建設経済部 商工観光課
総合評価	要改善
評価理由及び改善箇所	<p>観光振興は地域活性化に繋がるため、その中心的役割を担う観光協会への期待は大きい。しかしながら、業務の大半は、イベント助成金交付事務や物品貸出といった、合併前から継続しているイベントの補助であり、さぬき市としての観光振興への取組が進んでいない状況は、前回評価時(平成 24 年度)から変わっていないように思える。</p> <p>ただし、観光振興に資する事業への集中投資に向け、旧来型のイベントに対する助成金見直しに取り組んでいるという報告があった。その成果に期待するとともに、イベント中心ではない、リピーターを増やせるような新たな観光資源の発掘を要望する。</p>

事業名	大串自然公園管理事業
担当部署名	建設経済部 商工観光課
総合評価	要改善
評価理由及び改善箇所	<p>本事業で管理する施設は、観光名所として有望であるため、活用状況は注目される場所である。大串半島活性化に係る民間事業者との事業契約の解除等により当初の計画が頓挫したようだが、新たな考えを生み出す好機と捉え、時代にあった新たな活性化方針を、できる限り早期に策定していただきたい。</p> <p>また、テアトロンは、全国でも珍しい海を借景とした大規模音楽広場であることから、本市ならではの魅力ある地域資源としてさらに宣伝を強め、有名アーティストのコンサート回数の増加や、香川県や近隣市町等と連携したイベントの実施も期待する。</p>

事業名	自治振興事業②(コミュニティ活性化関係)
担当部署名	市民部 生活環境課
総合評価	現状維持
評価理由及び改善箇所	<p>自治会は、近所同士で相談しあい、助け合いながら、当該地域で安全・安心に暮らし続けるために重要な組織である。しかしながら、旧態依然とした自治会活動に賛同しない世帯の未加入や脱会、当該地域の人口減少や高齢化等により、既存の自治会運営に苦慮し、新たな運営体系を模索する自治体が増えている。本市は組織率からいけば80%程度を維持しているが、発生が予測されている南海トラフ大地震等で被害を拡大させないためにも、コミュニティ意識の醸成に努めるとともに、未来を見据えた自治会の規模や活動内容、支会のあり方についての議論を深めていただきたい。</p>

事業名	防災支援事業③(防災訓練関係)
担当部署名	総務部 総務課危機管理室
総合評価	要改善
評価理由及び改善箇所	<p>本事業は、市職員の危機管理意識向上を図ることを目的としており、職員研修の実施状況や職員配備計画の見直し状況などから、市民の生命・財産を守る備えに取り組んでいることが確認できた。しかしながら、いつ、どのような災害が発生するか分からないため、東日本大震災の被災地に派遣された社会福祉協議会職員のノウハウ聴取や大規模災害時に活用が見込まれる防災行政無線を使った訓練など、研修内容の更なる充実に期待する。</p> <p>また、本事業と関連して、市民一人ひとりの防災意識を高める活動も欠かすことはできない。市民との情報共有化や地域防災訓練の実施、防災マニュアルやハザードマップの作成・改訂などに継続して取り組んでいただきたい。</p>

事業名	秘書事業(まちづくり寄附(ふるさと納税)関係)
担当部署名	総務部 秘書広報課
総合評価	要改善
評価理由及び改善箇所	<p>まちづくり寄附(ふるさと納税)の取組状況は、県内自治体の中でも出遅れている印象が強い。ふるさと納税制度には賛否両論あるものの、本制度の活用によって税収を伸ばし、かつ、地域振興につなげている自治体もあることから、本市においても十分な活用を要望する。</p> <p>なお、寄附を増やすためには返礼品のラインナップを充実させることが重要となるが、返礼品は、本市のPRや地元事業者の売上向上に資するものが望ましい。よって、返礼品の選定に当たっては、地元の農産物や工芸品だけでなく、新たなアイデアによる掘り起こしに取り組むことを期待する。</p>

事業名	企業誘致推進事業
担当部署名	総務部 政策課
総合評価	現状維持
評価理由及び改善箇所	<p>本事業は、地元企業の第二創業を含む企業誘致を実現させるための重要な事業であり、県内自治体でも高水準の企業立地助成金制度を整備するなど、市の取組姿勢は評価に値する。今後は、さぬき市企業立地促進条例の見直しを契機に、誘致企業や地元企業と意見交換できる場を設けるなど、官民共同で企業ニーズに基づく施策を考え、産業振興を促進していただきたい。</p> <p>なお、企業誘致の実現には、各種企業とのつながりを深めておくことも重要であることから、豊富な経験や人脈を有する外部人材の活用も検討してはどうか。</p>

事業名	地域おこし協力隊・集落支援員事業
担当部署名	総務部 政策課
総合評価	要改善
評価理由及び改善箇所	<p>都会から受け入れた人材の柔軟な発想を生かす地域おこし協力隊員制度、過疎集落の課題発見から整理、解決へとつながる集落支援員制度は、ともに地域活性化に資する制度であり、国の財政支援のもと、全国で、積極的な活用が図られているところである。</p> <p>本市では、第1期隊員が任期満了後も市内に定住するなど一定の成果があったと評価できるが、隊員個人の資質によって成果が大きく左右される一面もあることから、第2期隊員へ必要なフォローアップを行っていただきたい。また、市として「よそ者目線」をしっかりと活用できるよう、所属の垣根を越えた隊員との連携にも期待する。</p>

さぬき市行政評価委員

委員長	長山 貴之
副委員長	鈴木 珠美
委員	小山 富子
委員	千田 彰一
委員	津村 肇
委員	奈良 正史
委員	森 幹男

平成28年度さぬき市行政評価委員会開催経過

○第1回行政評価委員会

日 時 平成28年5月27日(金) 13時30分～
場 所 さぬき市役所第2委員会室
内 容 平成28年度事務事業外部評価について 等

○第2回行政評価委員会

日 時 平成28年8月23日(火) 13時30分～
場 所 さぬき市役所302会議室
内 容 事務事業外部評価
(子育て支援課、長寿障害福祉課、学校教育課・幼保連携推進室、生涯学習課)

○第3回行政評価委員会

日 時 平成28年9月27日(火) 13時30分～
場 所 さぬき市役所203会議室
内 容 事務事業外部評価
(都市計画課、商工観光課、生活環境課)

○第4回行政評価委員会

日 時 平成28年10月13日(木) 18時00分～
場 所 さぬき市役所附属棟多目的室
内 容 事務事業外部評価
(危機管理室、秘書広報課、政策課)

○第5回行政評価委員会

日 時 平成28年11月14日(月) 16時30分～
場 所 さぬき市役所301会議室
内 容 報告内容の協議